

◎別刺敦那中毒

瞳孔散大、譫妄、昏睡等ノ症狀ヲ發シ時トノハ嘔吐下利等ヲ發スルモノナレハ初期ニハ吐劑ヲ與ヘ次テ鞣酸若クハ「ヤボランヂ」葉等ヲ處ス

◎貌魯謨中毒

急性中毒ハ稍、格魯兒中毒ノ如シト雖モ慢性中毒症ハ身体倦怠、精神違和ヲ來シ時トノハ陰莖ヲ起スニアリ此療法ニ向テハ反對藥ヲ用フルモ其効ナク宜シク蒸氣浴ヲ爲サシメ枸橼酸、嘔啡涅若クハ規尼涅等ノ諸劑ヲ處ス可シ

◎鉛中毒

(急性症)ハ大抵胃腸炎ニ初期ニハ硫酸亞鉛ヲ吐劑トシ用ヒ次テ硫酸麻涅矢亞、硫酸那篤留母或ハ蛋白、乳汁等ヲ與フ

◎硫酸亞鉛一・五 餾水六〇・〇 右溶解後每十分時間一五・〇宛與ヘ吐

ヲ得テ止ム(ペーレンツ氏)

(慢性症)口内鐵味ヲ覺ヘ臍部ニ劇烈ノ痲痛ヲ訴ヘ多クハ便秘シ時トノハ嘔吐ヲ發シ或ハ鉛毒性麻痺ヲ發シ腦症狀ヲ現ハシ或ハ關節痛ヲ持續シ又往々齒齦ニ藍色ヲ呈スルニアリ此療法ニ於テハ不絶硫酸麻偏涅矢亞ヲ投シ便秘セシムルヲナシ解毒劑ニハ沃度加里ヲ用ヒ次テ對症療法ヲ行フ此目的ニ對シ患部ニ溫罨布ヲ貼シ或ハ格魯兒防、依的兒等ヲ塗擦ス猶ホ麻痺症ニハ硝酸「ストリヒチ」ヲ用ヒ或ハ硫黃浴ヲ行ヒ時トノハ電氣ヲ流通スルニアリ

◎沃度加里二・〇 苦味丁幾二・〇 餾水一〇〇・〇 右一日三次分服

◎格魯兒防一・〇 雞卵黃一個 餾水二二〇・〇
右乳劑ト爲シ灌腸料四回分(アーション氏)

◎巴豆油〇・〇五 蜀葵根末、亞刺昆亞護謨各適宜

右丸四粒ト爲シ一日間服用(ブーシヤルダー氏)
 ◎硝酸「ストリヒチ」〇・〇五 右沸湯ニテ溶解セシメ而後甘草末適宜
 丸二十粒ト爲シ毎回一粒宛一日三次服用(サロモン氏)

◎エゼリン中毒

身体倦怠、呼吸短息、瞳孔縮小若クハ發汗、尿利過多、等ノ症狀ヲ發ス宜シ
 シ硝酸「ストリヒチ」、硫酸亞篤魯比涅等ヲ與フ可シ時トノハ吐劑ヲ與ヘ
 或ハ依的兒ノ皮下注入ヲ爲ス可アリ

◎羯答里斯中毒

口腔ニ水泡ヲ發シ暫時ヲ經テ舌咽頭ニ炎ヲ起シ流涎頻々止マヌ猶胃腸ニ
 痙衝ヲ起シ嘔吐ヲ來シ或ハ血尿ヲ泄シテ生殖器ノ興奮ヲ起ス此療法ニ向
 テハ決シテ油劑ヲ與フ可ラス宜シシ樟腦、阿片等ヲ内服セシム可シ

◎抱水格魯刺兒中毒

◎依的兒中毒

◎格魯兒叻中毒

右抱水格魯刺兒中毒ニテハ瞳孔縮小シ依的兒及格魯兒叻中毒ニテハ瞳孔
 散大ス其他ノ症狀ハ何レモ大差ナク大抵呼吸不利、脈搏不整緩徐、神識缺
 乏等ノ症候ヲ呈ス此療法ニ至テハ先ツ速ニ人工呼吸法ヲ行ヒ或ハ安母尼
 亞ノ吸入ヲ施シ若クハ冷水灌漑法ヲ爲ス次テ用フルモノハ樟腦ノ内服或
 ハ皮下注入ヲ施ス其他時トノハ硝酸「ストリヒチ」ノ皮下注入若クハ電氣
 ナ心部ニ通スルコトアリ但シ硝酸「ストリヒチ」ハ格魯兒叻及依的兒中毒
 症ノ解毒劑タリ又抱水格魯刺兒中毒ニ於テハ大抵吐劑ヲ用フルヲ通規ト
 ス

◎亞爾箇保兒中毒

(急性症)ニハ瞳孔散大シテ反應ナク(時トノ著シク縮小セルコトアリ)脈搏

緩徐微小トナリ多クハ神識缺乏ノ知覺モ共ニ脱失セラレ時トノハ謔言、妄語ヲ吐露シ或ハ生力沉衰等ノ症狀ヲ發ス宜シク初起ニハ狹迫ノ衣服ヲ解キ頭ヲ高クシ以テ外氣ニ觸レシム可シ或ハ時トノ冷水灌漑法ヲ行フアリ重症ニ於テハ依的兒及「カンフル」ノ皮下注入ヲ要ス
 (慢性症)宜シク酒客謔妄ノ條ヲ參照ス可シ

◎酸化炭素ノ中毒

頭痛ヲ訴ヘ顔面憔悴、全身蒼白時々搖擲ヲ顯ハス宜シク速ニ新鮮ノ空氣ヲ呼吸セシメ安母尼亞水ノ嗅入ヲ命シ次テ冷水灌漑法或ハ雪塊ヲ以テ皮膚ヲ麻擦スル等ノ法ヲ施シ或ハ芥子泥ヲ貼シ時トノハ人工呼吸法若クハ輸血法ヲ行フアリ

◎炭酸中毒

率テ酸化炭素中毒ノ症狀ニ類似セリ然レモ此症ニ於テハ体温著シク下降

シ時トノハ尿中ニ蛋白及糖分ヲ見ルヲアリ宜シク注意ノ酸化炭素中毒ノ條ヲ參照ノ治療ヲ施ス可シ

◎沃度叻中毒

大抵頭痛、眩暈、不眠等殆ト精神錯亂ノ如キ症狀ヲ呈ス宜シク浴湯ヲ命シ藥劑ニハ興奮劑ヲ投ス可シ

◎硫化水素中毒

顔面蒼白、頭痛、嘔吐等ノ症狀ヲ發シ時トノハ下利ヲ發シ漸々虚脱スルモノナレハ先ツ新鮮ノ空氣ヲ通シ鹽酸「アボモルヒチ」ノ皮下注入(一回○)

○一)ヲ施シ且ツ小心注意ノ格魯兒瓦斯ヲ吸入セシム

◎硫化炭素中毒

大抵神經症狀ヲ發ス宜シク對症療法ヲ行フ可シ

◎格魯謨酸鹽類中毒

大抵胃腸炎ヲ發ス宜シク痲性痲痺涅矢亞ヲ與フ可シ

◎青酸及青酸化合物中毒

患者ノ呼吸ハ苦扁桃臭ヲ放テ劇症ニ於テハ瞳孔散大ノ反應ナク呼吸甚ク緩徐トナリ顔面蒼青色ヲ呈シ脈搏殆ト觸ル、能ハス時トシテハ痲攣ヲ發スルコトアリ如此場合ニ際會スルキハ先ツ鹽酸「アボモルヒ子」ノ皮下注入ヲ行ヒ冷水灌漑法ヲ施シ或ハ温浴ヲ爲シ芥子泥ノ赤引法ヲ行ヒ内服ニハ硫酸亞篤魯比涅丸(一粒中〇・〇〇〇五ヲ含ム)ヲ與ヘ若クハ格魯兒水ヲ用テ猶ホ且ツ興奮劑ヲ投シ人工呼吸法ヲ行フコトアリ宜シク注意ス可シ

◎石炭酸中毒

其症狀頭痛、眩暈ヲ覺ヘ消化器官ノ粘膜腐蝕或ハ全身中毒ヲ發シテ脈搏緩徐トナリ、瞳孔縮小シ、頻々嘔吐ヲ來シ、尿色暗緑トナリ漸々虚脱ノ冷汗淋漓、譫言妄語ヲ發シ或ハ時トシテ卒倒シ皮膚藍色ヲ呈シ、心力沈衰ノ甚

ク危險ヲ示ス宜シク先ツ胃唧筒ヲ用テ胃中ヲ洗滌シ次テ炭酸石灰若クハ硫酸那篤魯母ヲ用ヒ時トシテハ蛋白、乳汁等ヲ用フルコトアリ其他芥子泥ノ赤引法ヲ行ヒ冷水灌漑法ヲ施シ虚脱ニハ興奮劑ヲ要ス

◎硫酸那篤魯母二〇・〇 餾水一〇〇・〇 右一日三次分服 (ゲンチンブルグ氏)

◎實斐答里斯中毒

最モ注目ス可キ徵候ハ脈搏ノ遲徐ニシテ大抵四十搏以下ニ降ル其他ノ症狀ハ嘔吐、下利、呼吸困難等ナリ宜シク鞣酸ヲ内服セシメ兼テ興奮劑ヲ處ス然レ初期ニハ吐劑ヲ要スルコトアリ又外治法ニハ芥子泥ノ赤引法ヲ行ヒ龍腦丁幾ヲ皮膚ニ塗擦スル等悉ク有効ナリトス

◎鞣酸〇・六 龍腦丁幾二・〇 餾水一〇〇・〇 右一日三次分服
◎亞篤魯比涅中毒

口腔及咽喉部ノ乾燥ヲ訴ヘ頻リニ頭重、眩暈ヲ告ケ瞳孔散大ノ一種固有ノ精神障礙ヲ來シ大抵皮疹ヲ發シ猶重症ニ陥ルキハ眞ノ癩狂狀ヲ爲シ脈搏頻數トナリ遂ニ尿閉ヲ來シ之カ爲ニ大ニ困難ヲ訴ヘ尿毒症ヲ發スルアリ若シ亦幸ニ尿毒症ヲ發セサルモ本病ノ爲ニ漸々虚脱ノ人事不省トナル此療法ニ至テハ先ツ初メニ温浴法ヲ行ヒ吐劑ヲ與フ然レモ其毒既ニ血中ニ吸収スルキハ鹽酸莫爾比涅ノ皮下注入(一回量大約〇・〇二)ヲ施シ或ハ「エゼリン」ノ皮下注入(一回量〇・〇〇二)或ハ鹽酸「ピロカルピン」ノ皮下注入(一回量〇・〇一)ヲ施ス其他灌水法、芥子泥ノ赤引法等ノ誘導法ヲ試ミ注意シテ對症療法ヲ行フ可シ

○臭素加里三・〇 苦味丁幾二・〇 餽水一〇〇・〇 右一日三次分服

(ドル氏)

○「ストリヒチ」中毒

劇烈ノ反射痙攣ヲ發シ身体強直ノ腱反射亢進シ脈搏ハ甚ク頻數トナル然レモ神識ヲ侵スナシ宜シク初メニ吐劑ヲ投シ次テ鞣酸ヲ與ヘ若クハ沃度丁幾(毎回十滴)ヲ毎十分時ニ用ヒ暫時ヲ經テ又吐劑ヲ處ス其他強直痙攣ニハ宜シク臭素加里、抱水格魯刺兒、格魯兒防「パラアルデヒート」、鹽酸莫爾比涅等ヲ處ス(破傷風ノ條ヲ參照ス可シ)

○鹽酸「アポモルヒチ」〇・一 餽水一〇〇・〇 右皮下注入料(一回一筒)

○抱水格魯刺兒二・〇一四・〇 亞刺昆亞護膜漿、餽水各五〇・〇

右灌腸料(サロモン氏)

○臭素加里一〇・〇 抱水格魯刺兒五・〇 單舍利別二〇・〇 餽水一三〇

○右調勻毎一時一五・〇 宛テ與フ(リフサ子氏)

○「ニコチン」中毒 (急性症)ニハ頭痛、眩暈、惡心、嘔吐等ヲ發シ次テ脈搏細小遲徐トナリ時

トノハ強直痙攣ヲ發スルコトアリ宜シク鹽酸莫爾比涅ノ皮下注入ヲ爲シ與
奮劑ヲ與フ可シ吐劇ヲ與フ
可カラス

(慢性症)ニハ心悸亢進、喘息機發作、不眠等ヲ發シ時トノハ脊髓勞ノ如キ
症狀ヲ發シ或ハ視力障碍、消食機ノ加答兒等ヲ發スルコトアリ宜シク沃度
加里ノ内服若シハ硝酸「ストリヒチ」ノ皮下注入(一回〇・〇〇一)ヲ施ス
可シ其他ハ對症療法ヲ行フ

◎阿片及莫爾比涅ノ中毒

(急性症)ニハ頭痛、眩暈、嘔吐、惡心等ヲ發シ瞳孔甚々縮小ノ精神錯亂狀
ヲ呈シ多シハ神識欠乏シ呼吸、脈搏共ニ遲徐トナリ漸ク昏睡狀ニ陥ルモ
ノナリ宜シク先ツ始メニ硫酸亞鉛ノ吐劑(毎回〇・四)ヲ與ヘ次テ解毒劑
トノ賞用セラル、モノハ硫酸亞篤魯比涅トス猶ホ鞣酸、濃煎咖啡等ヲモ
用フ可シ又昏睡ニ陥ラントスルモノニハ依的兒及「カンフル」ノ皮下注入

ヲ施シ次硝酸亞密兒ヲ吸入セシメ皮膚ニ芥子泥ヲ貼スル等可成注意ス可
シ

◎硫酸亞篤魯比涅〇・〇〇五 餉水一・〇 右皮下注入一回量
(キング氏)

(慢性症)ニハ身体羸瘦、貧血ノ大抵精神障碍ヲ伴フ此症ニ莫爾比涅ノ供
用ヲ突然廢止スルハ賞揚スル人アリト雖モ却テ長ナラズ宜シク漸々減量
ス可シ而シテ莫爾比涅ノ代用品ニハ臭素加里ヲ佳トス

◎麥角中毒

(急性症)ニハ大抵頭痛、眩暈ヲ訴ヘ同時ニ嘔吐、下利、腹痛等ヲ來シ脈搏
遲徐トナリ甚シキニ至テハ呼吸緩徐トナリ遂ニ斃ル此療法ニハ先ツ鹽酸
「アポモルヒチ」ヲ皮下ニ注入シ或ハ鞣酸ヲ内服セシメ或ハ「カンフル」ノ
皮下注入ヲ要スルコトアリ

（慢性症）ニハ率ネ急性中毒ノ症候ニ知覺異常ヲ兼ルモノトス次テ往々發スルモノ局部ノ壞疽ニシテトシハ甚シキ膿毒症ヲ發スルヲアリ宜シク對症療法ヲ行フ可シ

○「ムスカリン」中毒

大抵腸胃症ヲ發シ呼吸、脈搏共ニ緩徐トナル宜シク鞣酸及亞篤魯比涅ヲ處ス可シ

○河豚中毒

胃部灼熱ヲ覺ヘ次テ嘔吐ヲ發シ脈搏不正トナリ呼吸短息ノ頭痛ヲ訴ヘ瞳孔甚シク縮小スル等宜シク先ツ吐劑ヲ與ヘ次テ硝酸「ストリヒチ」ノ皮下注入（一回〇・〇〇一）ヲ施ス可シ

○非沃斯中毒

大抵別刺敦那中毒ニ同シ

○銅鹽類中毒

劇烈ノ嘔吐ヲ來シテ其吐物ハ時トシテ藍色ヲ呈スルヲアリ猶ホ同時ニ痙攣ヲ發シ或ハ痙攣麻痺等ヲ來シ又往々肝臟病ヲ合併スルヲアリ宜シク先ツ初メニ蛋白、糖水等ヲ與ヘ或ハ慢性麻痺涅矢亞ヲ用フ可シ

○磷中毒

（急性症）ニハ初メ腹部ノ劇痛及嘔吐ヲ發シ一旦稍々緩解スルモノ二三日ヲ經テ肝臟炎ヲ來シ熱甚シク黃疸ヲ發シ、脈搏軟弱トナリ或ハ吐血、下血、衄血等ヲ來シ或ハ血尿、子宮出血等ヲ發ス然レテ神識ヲ侵サル、トナシ宜シク注意シテ胃唧筒ヲ用ヒ胃中ヲ洗滌シ或ハ硫酸銅ヲ與フ可シ（必ス脂肪、雞卵等ヲ與フ可ラス）其他對症療法ヲ行フ可シ

○硫酸銅一・〇白糖、澱粉各五・〇

右散爲十包每十分時一包ヲ與ヘ吐ヲ得テ止ム（バンベルゲル氏）

(慢性症)ニハ多クハ骨疽ヲ起ス宜シク其療法ヲ行フ可シ

◎結麗阿曹篤中毒

大抵石炭酸中毒ニ同シ

◎番木鱉中毒

「ストリヒチ」中毒ニ同シ

◎銀及硝酸銀中毒

皮膚銀斑ヲ呈シ嘔吐、下痢、腹痛等ヲ來ス宜シク食鹽、蛋白若クハ牛乳等ヲ投ス可シ

◎沃度及沃度加里中毒

大抵臭素中毒ニ同シ宜シク先ツ澱粉汁ヲ多量ニ投シ或ハ蛋白ヲ與ヘ次テ慢性麻痺涅矢亞ヲ處シ時トノハ利尿劑ハ甚タ必用ナルコトアリ

◎鑛酸中毒

概テ消食機ノ粘膜ヲ腐蝕シ爲ニ劇烈ナル炎ヲ發シ腹部ノ劇痛、嘔吐、吐血、或ハ下血、血尿等ヲ發ス時トノハ各種ノ神經障礙ヲ來シ或ハ局部粘膜ノ穿孔ヲ生スルコトアリ如此場合ニ遭遇スルキハ宜シク慢性麻痺涅矢亞ヲ與ヘ或ハ稀薄那篤倫滴汁ヲ用フルコトアリ(胃唧筒ヲ用フルハ穿孔ノ恐レアリ)其他對症療法ハ甚タ必用ナリ

◎水銀中毒

口腔加答兒ヲ發シ以テ腸胃ノ加答兒ヲ起シ嘔吐、裏急後重、等ヲ發シ時トノハ尿閉ヲ來シ甚シク貧血ヲ呈スルコトアリ或ハ猶ホ且ツ麻痺ヲ生シ、精神障礙ヲ來スコトナキニアラス宜シク格魯兒酸加里ノ含嗽及内服ヲ處シ温浴ヲ行ハシメ時トノハ沃度加里ヲ與ヘ電氣ヲ流通スルコトアリ

◎「ニトロペンタン」中毒

石炭酸中毒ト大差ナシ宜シク參照ス可シ

○植物酸中毒

大抵消化機ヲ腐蝕シ且ツ神經性症狀即チ痙攣麻痺等ヲ發ス宜シク初期ニハ鹽酸「アポモルヒチ」ノ皮下注入ヲ施シ次テ慢性麻痺涅矢亞或ハ石灰水等ヲ處ス可シ

○「ピクリン」酸中毒

石炭酸中毒ノ條ヲ參照ノ治療ヲ施ス可シ

○「ソラニン」中毒

先ツ初メニ惡心嘔吐ヲ發シ次テ知覺鈍麻、搖擗等ヲ來ス宜シク莫爾比涅中毒ノ條ヲ參照ノ治療ヲ施ス可シ

○蛇及狂犬中毒

宜シク患部ヲ石炭酸水ニテ洗滌シ或ハ血角、烙鐵等ヲ貼シ堅ク綁帶ヲ爲シ置ク可シ

○蠟腸中毒

大抵初メニ惡心、嘔吐、胃痛下痢等ヲ發ス而シテ漸々神經系症狀ヲ發シ殊ニ視力障害、上眼瞼下垂、舌咽神經ノ麻痺等ヲ來ス宜シク初期ニハ吐劑ヲ與ヘ次テ對症療法ヲ行フ可シ

○魚類、獸肉類及甲介類中毒

此中毒ハ何物ノ所爲ニ由ルヤ未ダ明細ナラス故ニ諸般ノ症狀ヲ發スト雖モ多クハ對症療法ニ過キス

實用新治療書附錄終

日本藥局方極量表

藥名	一回極量	一日極量	藥名	一回極量	一日極量
亞砒酸	〇〇〇五	〇〇〇二	抱水格魯刺兒	三〇〇	六〇〇
石炭酸	〇〇一	〇〇五	古塔乙涅	〇〇二	〇〇六
鹽酸アモルヒ子	〇〇一	〇〇五	嘔啡涅	〇〇二	〇〇四
苦扁桃水	二〇〇	八〇〇	硫酸銅	〇〇二	一〇〇
硝酸銀	〇〇三	〇〇二	實斐答里斯	〇〇二	五〇〇
熔製硝酸銀	〇〇三	〇〇二	麥角	一〇〇	〇〇二
沃度化砒素	〇〇二	〇〇五	別刺敦那越幾斯	〇〇五	〇〇二
硫酸亞篤魯比涅	〇〇一	〇〇一	印度大麻越幾斯	〇〇一	〇〇四
別刺敦那葉	〇〇二	〇〇六	格魯聖篤魯越幾斯	〇〇五	〇〇二
臭素加樟腦	〇〇三	二〇〇	菲沃斯越幾斯	〇〇二	一〇〇
羯答里斯	〇〇五	〇一五	阿片越幾斯	〇一五	〇〇五
萘酸攝留母	〇〇三	一〇五	加刺拔爾豆越幾斯	〇〇二	〇〇五
			催吐量	〇〇一	

番木甞碱幾斯	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
黃色沃度化汞	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
黃色酸化汞	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
赤色酸化汞	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
昇汞	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
赤色沃度化汞	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
非沃斯藥	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
耶僕蘭日	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
沃度吩	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
沃度	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
結麗阿曹篤	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
刺苦丟葛留母	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
沃度化砒汞液	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
亞砒酸加留母液	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
魯別利亞	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
鹽酸莫爾比涅	〇〇一五	〇〇一五	〇〇一五	〇〇一五	〇〇一五
硫酸莫爾比涅	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
揮發苦扁桃油	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
巴豆油	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
阿片	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
磷素	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
撒里矢爾酸比蘇私	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
知爾密涅	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
鹽酸必魯加爾必涅	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
格魯聖篤非沃斯丸	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
醋酸鉛	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
剝度比爾林	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
藥刺巴脂	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
珊篤寧	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
吐酒石	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
硫化安知母紐謨	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二

番木甞	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
砒酸斯篤里幾尼涅	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
別刺敦那丁幾	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一	〇〇一
揭答里斯丁幾	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五	〇〇五
格爾矢佩謨丁幾	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
格魯聖篤丁幾	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
實芝答里斯丁幾	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
沃度丁幾	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
魯別利亞丁幾	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
阿片丁幾	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
番木甞丁幾	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
物拉篤里涅	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
格爾矢風謨酒	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
芳香阿片酒	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
沃度丁幾	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二
魯別利亞丁幾	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
阿片丁幾	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
番木甞丁幾	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
物拉篤里涅	〇〇〇五	〇〇〇五	〇〇〇五	〇〇〇五	〇〇〇五
格爾矢風謨酒	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
芳香阿片酒	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
沃度丁幾	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
魯別利亞丁幾	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
阿片丁幾	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
番木甞丁幾	〇〇〇二	〇〇〇二	〇〇〇二	〇〇〇二	〇〇〇二
物拉篤里涅	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
格爾矢風謨酒	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇

新藥極量表

藥名	一回極量	一日極量	藥名	一回極量	一日極量
葦澄茄酸	一〇〇	三〇〇	抱水亞密連	三〇五	七〇〇
沃度酸	〇〇三	一〇二	ア子モニン	〇〇三	〇〇一
阿斯密謨酸	〇〇三	〇〇四	硫酸亞尼林	〇〇一	〇〇三
比備林酸	〇〇五	一〇五	安質歇親林	一〇〇	四〇〇
焦性没食子酸	〇〇六	〇〇三	安質必林	二〇〇	八〇〇
亞古仁質涅	〇〇〇三	〇〇〇六	結晶アピホル	一〇〇	四〇〇
亞古仁質涅	〇〇〇一	〇〇〇二	アボコテイ子	〇〇三	〇〇九
亞古仁質涅	〇〇〇三	〇〇〇六	アルプチン	一〇〇	四〇〇
硝酸亞古仁質涅	〇〇〇三	〇〇〇六	臭素加砒素	〇〇一	〇〇三
アドニチン	〇〇〇六	〇〇〇三	アスパラギン	〇〇一	〇〇三
アガリチン	〇〇二五	〇〇四五	鹽酸アスピドスベルミン	〇〇三	〇〇六
第三臭素化アロール	八	〇〇五五	バプチン	〇〇三	〇〇一
アロイン	〇〇二五	〇〇五五			

硫酸ベレリ子	三〇〇	一〇〇〇	コロチンチ子	〇〇三五	〇〇七
偏巽爾	一〇〇	六〇〇	臭素水素酸コニー子	〇〇〇五	〇〇三
鹽酸ベルベリ子	〇〇〇六	〇〇二五	コンバララーミー子	〇〇〇五	〇〇三
ポルドアルチン	四〇〇	二二〇	コトイ子	〇〇〇八	〇〇五
抱水プチール格魯刺兒	一〇〇	四〇〇	ダツリ子	〇〇〇〇一	〇〇〇三
安息香酸カツフエン那篤	一〇〇	四〇〇	硫酸ツホアジ子	〇〇〇〇一	〇〇〇三
獨母	一〇〇	四〇〇	硫酸エリトロフロエイ子	〇〇〇一	〇〇三
撒里天爾酸カツフエン那篤	一〇〇	四〇〇	臭素化エチエール	二十滴	〇〇三
檸檬酸カンナビン	一〇〇	二二〇	沃度化エチエール	三十滴	一〇五
カンナビン	〇〇一	〇〇二五	エチエールオクシーカツフエン	一〇〇五	一〇〇
硫化炭素	十	四十滴	エゾオニミン	〇〇五	一〇〇
第三格魯兒化炭素	〇〇〇五	一〇五	エキスアルギン	〇〇三	〇〇七
グリザロビン	〇〇〇五	〇〇二五	フクシー子	〇〇二五	〇〇五
格魯刺兒アミド	二〇〇	〇〇五	鹽酸ゲルセミ子	〇〇〇五	〇〇一五
鹽酸衛加因	〇〇一五	〇〇五	グアヤコール	〇〇〇八	〇〇一五
コルヒチ子	〇〇〇三	〇〇〇五			

ヘレニー子	〇〇三	〇〇九	〇〇一	〇〇二
ヘレホレイ子	〇〇三	〇〇二	〇〇三	〇〇一
ホムアトロピ子鹽	〇〇三	〇〇五	〇〇三	〇〇一
ヒドロアセチン	〇〇八	〇〇八	〇〇三	〇〇一
鹽酸ヒドラスチ子	〇〇二	〇〇五	〇〇三	〇〇一
ヒドロヒノン	〇〇七	〇〇五	〇〇三	〇〇一
鹽酸ヒヨスチ子	〇〇〇	〇〇三	〇〇三	〇〇一
硫酸ヒヨスチアミー子	〇〇〇	〇〇三	〇〇一	〇〇四
ヒフノン	〇〇五	一〇五	四〇〇	八〇〇
イヒチオール	一〇〇	一〇五	一〇〇	四〇〇
第三格魯兒沃度	〇〇一	〇〇八	一〇〇	四〇〇
ヨドール	〇〇一	一〇〇	〇〇五	一〇五
イリヂン	〇〇一	〇〇五	〇〇〇	〇〇〇
カイリン	一〇〇	四〇〇	〇〇五	三〇〇
メントール	一〇〇	五〇〇	〇〇一	一〇〇
醋酸ホチモール	〇〇九	〇〇一	〇〇一	〇〇二
メプトン化昇汞	〇〇二	〇〇三	〇〇三	〇〇一
藏化汞	〇〇五	〇〇三	〇〇三	〇〇一
蟻酸アミド汞	〇〇八	〇〇三	〇〇三	〇〇一
撒里矢爾酸汞	〇〇五	〇〇三	〇〇三	〇〇一
鞣酸汞	一〇五	〇〇三	〇〇三	〇〇一
メトアセチン	〇〇〇	〇〇三	〇〇一	〇〇四
メチロール	〇〇〇	四〇〇	四〇〇	八〇〇
ナフトリン	一〇五	一〇〇	一〇〇	四〇〇
ナフトール ベータ	四〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇〇
臭素化ニツケル	〇〇八	〇〇五	〇〇五	一〇五
ニトログリセリン	一〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
パラアルデヒッド	〇〇五	〇〇〇	四〇〇	〇〇〇
パルテニチ子	四〇〇	〇〇五	〇〇五	三〇〇
ヘレチエリー子鹽	五〇〇	〇〇〇	〇〇一	一〇〇

硫酸ペライリー子	〇〇五	二〇〇	二〇〇	〇〇五
フエナゼチン	一〇〇	二〇〇	〇〇三	〇〇一
ピクロトキシン	〇〇〇	〇〇二	〇〇〇	〇〇〇
ピペリー子	〇〇五	一〇二	〇〇三	八〇〇
ホドフヒロトキシン	〇〇二	〇〇六	〇〇三	一〇〇
阿斯密酸加里	〇〇二	〇〇四	〇〇三	一〇〇
プロピールアミ子	〇〇二	〇〇四	〇〇五	一〇五
ピリヂ子	〇〇二	二十五	〇〇五	一〇五
ピロギ子	〇〇四	〇〇一	〇〇二	〇〇三
酒酸ロノリン子	二〇〇	六〇〇	〇〇二	一〇〇
レゾルチ子	三〇〇	一〇〇〇	〇〇〇	一〇〇
ザリチ子	二〇〇	一〇〇〇	二〇〇	一〇〇
ザロール	二〇〇	一〇〇〇	二〇〇	一〇〇
藏化銀	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
沃度銀	〇〇二	〇〇六	〇〇六	〇〇二
ソラニー子	二〇〇	二〇〇	〇〇一	〇〇五
硫酸スバルタイ子	二〇〇	二〇〇	〇〇三	〇〇一
ストロファンチ子	〇〇〇	〇〇二	〇〇〇	〇〇〇
ズルフオナル	一〇二	四〇〇	〇〇二	〇〇〇
抱水テルピン	〇〇六	〇〇三	〇〇三	一〇〇
テルピノール	〇〇四	〇〇三	〇〇三	一〇〇
硫酸タルリー子	〇〇二	〇〇五	〇〇五	一〇五
酒酸タルリー子	〇〇二	〇〇五	〇〇二	一〇五
チオール	〇〇一	五	〇〇二	〇〇三
ストロファンツス丁幾	六	五	三〇	三〇
(一ト二〇)	六	五	三〇	三〇
トリメチールアミ子(十%)	一〇〇	三〇	一〇〇	一〇〇
ウラリサム	一〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇
ウレタン	一〇〇	五〇〇	二〇〇	一〇〇
キシロール	〇〇二	二〇〇	二〇〇	一〇〇

瓦蘭謨、凡汚比較表

一ミリ瓦	〇〇〇〇	六十分凡一	一ガロン	四六〇〇〇	一茶匙	四〇〇
一センチ瓦	一〇〇〇	六分凡一	一パイント	六〇〇〇〇	半茶匙	二〇〇
一デチ瓦	〇〇〇	一凡半	一ポント	三六〇〇〇	一食匙	一五〇〇
一デカ瓦	一〇〇〇	十六凡	一汚	三〇〇〇〇	半食匙	七〇五
一ヘクト瓦	一〇〇〇〇	二汚半	一弓	三〇七五	一酒盞	一〇〇〇〇
一キロ瓦	一〇〇〇〇〇	三汚二弓半	一及	一三二五	一茶碗	一〇〇〇〇
一ミリア瓦	一〇〇〇〇〇〇	約三十三汚	一凡	〇〇〇五	一刀尖	二〇〇
		凡三百三十汚	一滴	凡〇〇五	一小刀尖	一〇〇

重量比較表

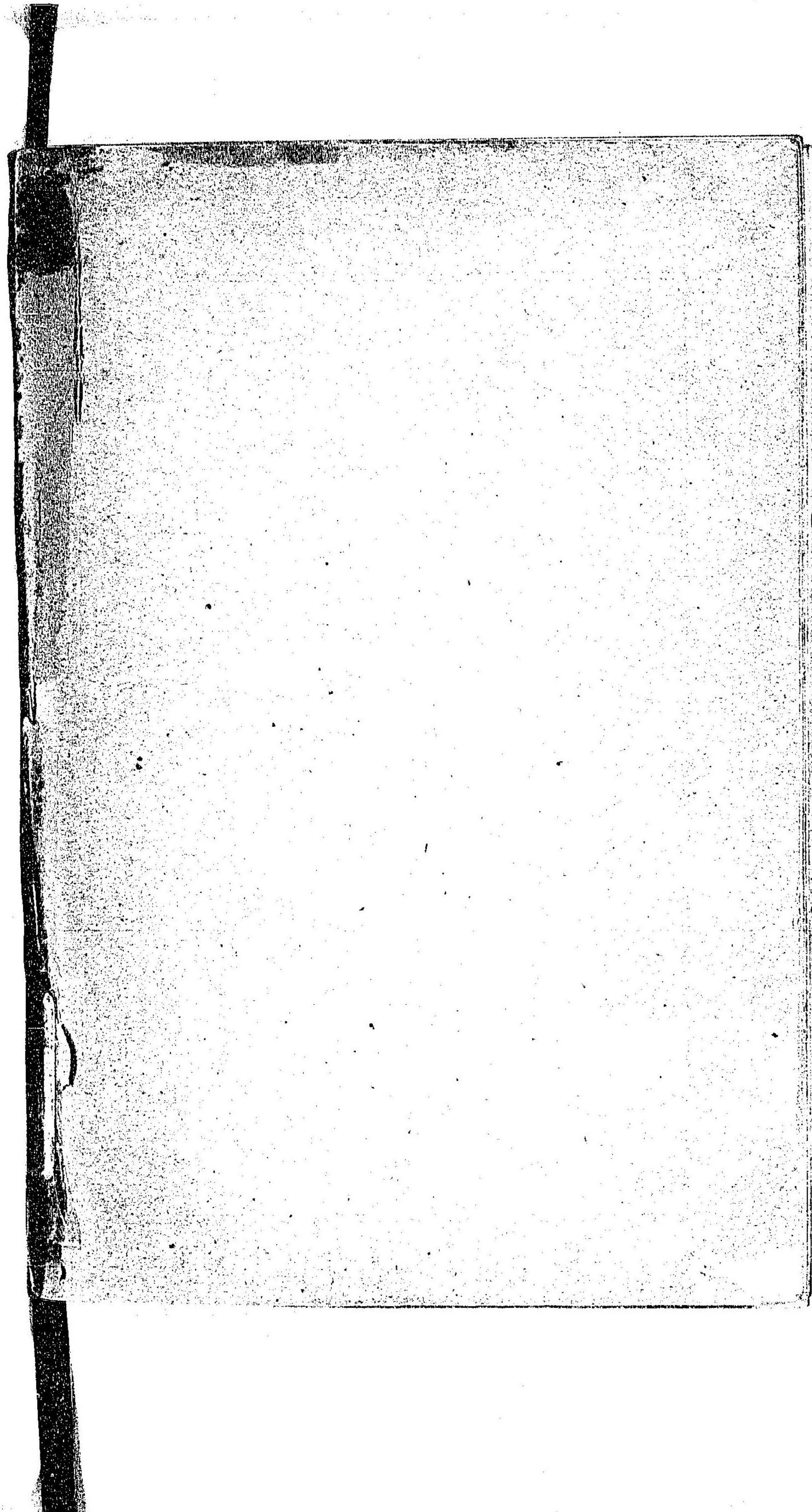
容量名目比較表

版権登録

明治二十二年十一月廿八日印刷
同 年十一月廿九日出版

發行者兼 廣島縣平民 亮
印刷人 千日 東京神田區東紺屋町四十八番地
印刷所 木元由太郎 日本橋區藥研堀町卅三番地
藥研堀活版所 同所
東京日本橋區馬喰町二丁目 島村利助
同 本郷區春木町三丁目 島村利支店
同 本郷區湯島切通坂町 南江支店
同 日本橋區通三丁目 丸善書店
大坂心齋橋筋一丁目 松村九兵衛

發兌書肆



136
7
442

實用新治療書

058637-000-9

特65-275

實用新治療書

千日 亮/編

M22

CBC-0162

